

海軍公報 (部内限) 第三千四十四號

昭和十三年十月二十四日(月)
海軍大臣官房

○雜款

司令驅逐艦變更
第十九驅逐隊司令ハ十月二十二日司令驅逐艦ヲ綾波ヨリ磯波ニ復歸セリ

○郵便物發送先
軍艦長門宛

十月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ 千葉縣館山
其ノ後ハ 横須賀

軍艦衣笠宛 佐世保
自今

○郵便物發送先變更

軍艦赤城宛 十月三十日迄ニ到達見込ノモノハ 館山
其ノ後ハ 横須賀

○事務所移轉
父島海軍航空隊(假稱)設立準備委員事務所ハ九月十六日横濱海軍航空隊内ニ移轉セリ

○海仁會設立

別紙財團法人海仁會設立申請ニ對シ昭和十三年十月三日附其ノ設立ヲ許可セラレタリ

(別紙)

昭和十三年十月一日

財團法人海仁會設立代表者

海軍少將 清水 光美

海軍大臣 米内 光政 殿

財團法人海仁會設立ノ件申請

今般民法第三十四條ニ依リ別紙寄附行爲ニ依リ財團法人海仁會ヲ設立致度候條御許可相成度別紙寄附行爲及資産目錄相添へ及申請候

(別紙添)

○學生入校期日

近ク任命豫定ノ本校各種學生ハ十一月八日始業ニ付其ノ前日迄ニ入校セシメラレ度

(海軍航海學校)

(限 内 部)

海軍公報(部内限) 第三千四十四號

昭和十三年十月二十四日

一二五九

1036

○學生入隊
十一月一日發令ノ海軍練習航空隊特修科學生ハ十一月
十日始業式ニ付同月八日迄ニ入隊セシメラレ度
（横須賀海軍航空隊）

||

1037

○ 艦船所在 印ハハホ七
指定ヲ要セズ

○ 十月二十四日午前十時調

【横須賀】 對馬、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、

長門、赤城、駒橋、木曾

【曉】 漣、狹霧、響、雷、電、羽風、

沖風、夏雲、朝雲、峯雲

掃二

富士、洲崎、室戸

(飛龍) (高崎) (劍崎)

【長浦】 旗風、秋風、山雲、神風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

伊一二三、伊一二四

【石川島】 太刀風

(掃一〇)

【横濱】 掃五、掃六

夕風

(霞) (不知火) (掃八)

【館山】 澤風

波風、早苗

【大湊】 大泊

若竹、吳竹

【函館】 矢矧、韓崎、比叡、衣笠、淀、淺間、扶桑、

古鷹、加古、最上、大井

夕顔、菊、葵、萩、磯波、綾波、浦波、

【初雪】 自雪、吹雪、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、

呂二八、伊五一、伊五三、伊五五、

伊三三、伊三三、伊五七、伊五六、

伊五八、伊七二、伊七三、伊七一、

伊六六、伊六五、伊六七、伊七四、

伊一二一、伊二二三

(千代田)、(伊一六〇)

【神戶】 伊五四、呂五七、呂五九

(瑞穂) (伊八) (伊七五)

襟裳、早鞆

【相生】 (掃七)

朝風、松風、春風

【因ノ島】 平戸

吾妻、高雄、長鯨、愛宕、敷波、帆風

伊五二

(霞) (陽炎) (掃九)

榛名、那智、北上、常磐、名取

梨、竹、樞、桃、柳、檜、蕙、夕風

朝風、若葉、初霜、子日、初春

【朝潮】 大潮、滿潮、荒潮、峯風、文月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、

呂六一、呂六二、呂六四、呂六六、

呂六五、呂六七、呂六八、呂六三、

雁

海軍公報(部内限) 第三千四百廿號 昭和十三年十月二十四日

一一六一

1038

【長崎】

敷島▲、攝津、鳴戸、間宮、野島
(明石)▲
羽黒▲
佐多▲
(利根)▲(筑摩)▲

【鎮海】

柿

【仁川】

榆

【元山】

葦

【作業地】

沖島、出雲、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、殿島、八重山、白鷹、川内、足柄、球磨、妙高、多摩、天龍、龍田、長良、加賀、神威、能登呂、勝力、千歳、迅鯨、那珂、由良、鬼怒、神通、蒼龍、龍驤、陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、大鯨、島海、摩耶、熊野、鈴谷、三隈、阿武隈、栗、梅、逆、夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、水無月、長月、薄、藤、蕙、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、三月月、追風、疾風、蓼、蓬、菱、島風、沙風、灘風、臯月、朧、潮、曙、天霧、朝霧、夕霧、白雲、薄雲、叢雲、東雲、陸月、卯月、彌生、如月、沼風、野風

【航海中】

石廊 (十四日羅府發「ホノルル」)
尻矢 (二十日横須賀發「羅府」)
青葉 (二十三日吳發「佐世保」)
八雲、磐手 (二十三日鳥羽發「佐世保」)
伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、伊七、伊七〇、伊六八、伊六九、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、伊六一、伊六二
隼、鶴、鴨、鴻、千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鳩、鷺、雉
掃一、掃三、掃四、掃一六、掃二三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八
朝日、膠州、鶴見、知床、隠戸

財団法人海仁會寄附行爲

第一章 總 則

第一條 本會ハ財団法人海仁會ト稱ス

第二條 本會ハ東京市ニ本部ヲ、軍港要港共ノ他必要アル地ニ支部ヲ置ク
支部ハ財団法人海仁會(所在地名) 支部ト稱ス

第二章 目的及事業

第三條 本會ハ海軍軍人ヲ援護シ其ノ後顧ノ憂ヲ除キ一意軍務ニ精勵セシムルヲ以テ目的トス

第四條 本會ハ前條ノ目的ヲ達成スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 軍港要港共ノ他必要アル地ニ於ケル海軍軍人ノ修養、慰安及休養ニ關スルコト
- 二 家族ノ修養、扶助及保健ニ關スルコト
- 三 酒保用品等ノ調達上ノ便宜供與ニ關スルコト
- 四 其ノ他海軍軍人ノ援護扶助ニ關スルコト

第五條 本會ノ事業ハ必要ニ應ジ之ヲ海軍軍屬ニ及ボスコトヲ得

第三章 事務所

第六條 本會ハ主タル事務所ヲ東京市麴町區霞ヶ關二丁目一番地一海軍省構内ニ、從タル事務所ヲ支部所在

地ニ置ク

第四章 資産及會計

第七條 本會設立ノ日ニ於ケル資産ハ別紙目錄記載ノ財産トス

第八條 本會ノ資産申左ノ各號ニ掲グルモノハ之ヲ基本財産トス

一 前條ノ資産中金貳拾萬圓

二 基本財産トシテ寄附ヲ受ケタル財産

三 土地及建物

四 評議員會ノ決議ニ依リ經常財産ヨリ基本財産ニ繰入レタル財産

第九條 基本財産ノ管理方法ハ評議員會ノ議決スル所ニ依ル

第十條 基本財産ハ之ヲ處分スルコトヲ得ズ但シ特ニ必要アルトキハ評議員會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スルコトヲ得

第十一條 左ノ財産ハ之ヲ經常財産トス

一 第七條ノ財産申基本財産ニ非ザルモノ

二 基本財産ヨリ生ズル收益

三 寄附ヲ受ケタル財産ニシテ基本財産ノ指定ナキモノ

二

1041

四 其ノ他ノ收入

第十二條 本會ノ事業經營ニ要スル經費ハ經常財産ヲ以テ之ヲ支辨ス

第十三條 經常財産ハ常務理事之ヲ管理ス

第十四條 會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ヲ以テ終ル

第十五條 經常費ノ支出ハ毎年度豫算ニ依リ之ヲ執行シ年度末日ヲ以テ其ノ決算ヲ爲ス

第十六條 豫算ハ毎年度開始前評議員會ノ決議ヲ經テ之ヲ定メ決算ハ翌年度評議員會ニ於テ其ノ承認ヲ經ル

モノトス

第五章 役員及職員

第十七條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一 理事 若干名

二 評議員 若干名

第十八條 理事ヲ分ツコト左ノ如シ

一 會長 一名

二 副會長 一名

三 理事 若干名

理事中一名ヲ總務理事トス

總務理事及理事中七名ヲ常務理事トス

第十九條 會長ハ海軍大臣タル理事トス

會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

第二十條 副會長ハ海軍次官タル理事ニ會長之ヲ委嘱ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第二十一條 總務理事ハ海軍省人事局長ノ職ニ在ル者ニ會長之ヲ委嘱ス

總務理事ハ會長ノ命ヲ承ケ本會ノ事務ヲ總轄ス

總務理事事故アルトキハ會長ノ指定スル常務理事共ノ職務ヲ代理ス

第二十二條 總務理事以外ノ理事ハ左ノ職ニ在ル者及必要ト認ムル者ニ會長之ヲ委嘱ス

一 海軍省首席副官

二 海軍省軍務局第一課長、同第二課長、同第三課長

三 海軍省人事局第一課長、同第二課長

四 海軍省教育局第一課長

五 海軍省軍需局第一課長、同第三課長

- 六 海軍省醫務局首席局員
 - 七 海軍省經理局第一課長、同第二課長、同第三課長
 - 八 海軍省建築局首席局員
 - 九 海軍省法務局次席局員
 - 十 海軍艦政本部總務部第一課長、同第四課長
 - 十一 海軍航空本部總務部第一課長
 - 十二 軍令部首席副官
- 第二十三條 常務理事ハ總務理事ノ外左ノ職ニ在ル者ニ會長之ヲ委囑ス
- 一 海軍省首席副官
 - 二 海軍省軍務局第一課長
 - 三 海軍省人事局第二課長
 - 四 海軍省軍需局第三課長
 - 五 海軍省醫務局首席局員
 - 六 海軍省經理局第二課長、同第三課長
- 常務理事ハ本會ニ關スル常務ヲ掌理ス

第二十四條 評議員ハ左ノ職ニ在ル者及必要ト認ムル者ニ會長之ヲ委囑ス

- 一 海軍大臣
- 二 海軍次官
- 三 海軍省軍務局長
- 四 海軍省人事局長
- 五 海軍省教育局長
- 六 海軍省軍需局長
- 七 海軍省醫務局長
- 八 海軍省經理局長
- 九 海軍省建築局長
- 十 海軍省法務局長
- 十一 海軍艦政本部長
- 十二 海軍航空本部長
- 十三 軍令部次長

評議員ハ重要ナル事項ヲ議決ス

六

1045

第二十五條 役員ノ任期ハ各其ノ當該職ニ在職中ノ期間トス

第二十六條 必要ニ應ジ本會ニ顧問ヲ置キ會長之ヲ委囑ス

顧問ハ本會ノ會務ニ關シ會長ノ諮問ニ應ズ

第二十七條 本會ニ副理事若干名ヲ置ク

副理事ハ左ノ職ニ在ル者ニ會長之ヲ委囑ス

一 海軍省人事局第二課勤務ノ兵科士官

二 海軍省軍需局第三課勤務ノ主計科士官

三 海軍省醫務局勤務ノ軍醫科士官

四 海軍省經理局第三課勤務ノ主計科士官

五 海軍艦政本部總務部第四課勤務ノ主計科士官

副理事ハ常務理事ヲ輔佐ス

第二十八條 本會支部ニ支部長、總務參事、參事、副參事及參與ヲ置ク

第二十九條 支部長ハ鎮守府司令長官、要港部司令官等ノ職ニ在ル者ニ會長之ヲ委囑ス

支部長ハ會長ノ命ヲ承ケ支部ニ於ケル會務ヲ總理ス

第三十條 總務參事ハ海軍人事部長、要港部參謀長等ノ職ニ在ル者ニ會長之ヲ委囑ス

總務參事ハ支部長ノ命ヲ承ケ支部ニ於ケル事務ヲ總轄ス

第三十一條 參事、副參事及參與ハ鎮守府、要港部等ニ勤務スル高等官ニ會長之ヲ委嘱ス

參事ハ支部ノ業務ヲ掌理ス

副參事ハ參事ヲ補佐ス

參與ハ支部ノ重要事項ニ關與ス

第三十二條 本會ニ職員トシテ囑託及事務員ヲ置キ囑託ノ命免ハ會長之ヲ行フ

第三十三條 職員ハ常務理事又ハ參事ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第六章 會議

第三十四條 會議ヲ分チテ理事會及評議員會ノ二トス

第三十五條 理事會ハ會長隨時之ヲ招集シ之ガ議長ト爲ル

會長事故アルトキハ其ノ指定スル理事之ガ議長ト爲ル

第三十六條 理事會ニハ理事二分ノ一以上出席スルコトヲ要ス

理事會ノ議事ハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十七條 評議員會ハ會長之ヲ招集シ之ガ議長ト爲ル

會長事故アルトキハ其ノ指定スル評議員之ガ議長ト爲ル

第三十八條 評議員會ハ之ヲ通常評議員會及臨時評議員會ニ分ツ

第三十九條 通常評議員會ハ毎年二月及七月之ヲ招集ス

第四十條 通常評議員會ハ主トシテ豫算決算ニ關スルコトヲ議ス

第四十一條 臨時評議員會ハ左ノ場合ニ之ヲ招集ス

一 會長ニ於テ必要ト認メタルトキ

二 評議員三名以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ請求シタルトキ

第四十二條 左ノ事項ハ之ヲ評議員會ニ附議スルコトヲ要ス

一 寄附行爲ノ變更

二 諸規則ノ制定變更

三 寄附行爲ニ於テ評議員會ニ付議シ又ハ其ノ承認ヲ經ベキコトヲ規定シタル事項

四 事業遂行上必要ナル資金ノ借入又ハ不動産ノ買入但シ金額壹萬圓以下ニシテ期間一ケ年ヲ超エザル借

入ハ此ノ限ニ在ラズ

五 理事會ニ於テ評議員會ニ附議スベキモノト認メタル事項

第四十三條 評議員會ニハ評議員三分ノ一以上出席スルコトヲ要ス

左ニ掲グル事項ヲ附議スル場合ニハ評議員四分ノ三以上出席スルコトヲ要ス

一 寄附行為ノ變更

二 基本財産ノ處分

第四十四條 評議員會ノ議事ハ出席評議員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決シ可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル但シ前條第二項ノ場合ニ在リテハ出席評議員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第四十五條 評議員已ムヲ得ザル事由アリテ評議員會ニ出席スルコト能ハザルトキハ豫メ示サレタル議案ニ對シ書面ヲ以テ表決ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス

第四十六條 常務理事ハ議長ノ承認ヲ得テ評議員會ニ出席シ説明ヲ爲シ又ハ意見ヲ述ブルコトヲ得

附 則

第四十七條 本寄附行為施行ニ關シ必要ナル細則ハ評議員會ノ決議ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第四十八條 初年度ノ會計年度ニ限リ本會設立許可ノ日ヲ以テ始マル

第四十九條 本會設立ノ際ニ於ケル役員左ノ如シ

會 長(理事)	米 内 光 政	同	岡 敬 純
副會長(理事)	山 本 五 十 六	同	西 尾 秀 彦
理 事	清 水 光 美	同	森 田 貫 一
同	一 宮 義 之	同	大 西 新 藏

(別紙)

資 産 目 録

一金貳百萬圓也

内

金貳拾萬圓 基本財産

内 譯

三井銀行丸ノ内支店	定期預金	拾 萬 圓
三和銀行東京支店	同	拾 萬 圓

金壹百八拾萬圓 經常財産

内 譯

安田銀行新橋支店	定期預金	壹百參拾貳萬圓
三菱銀行虎ノ門支店	同	拾 九 萬 圓
第一銀行本店	同	拾 六 萬 圓
住友銀行赤坂支店	同	拾 參 萬 圓

(終)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

○ 令 達

官房第五三四〇號

提 要

大元帥陛下ニハ本日兩幕僚長ヲ召サセラレ左ノ 御言
葉ヲ賜ハリタリ

昭和十三年十月二十四日

海軍大臣 米 内 光 政

御 言 葉

今次ノ南支作戰ニ方リ陸海軍諸部隊カ緊密ナル協同
ノ下ニ周到ナル準備ト果敢ナル行動トヲ以テ速ニ廣
東一帯ヲ攻略セルハ戦局ニ寄與スルトコロ大ナルモ
ノト認メ深ク満足ニ思フ此旨將兵ニ申傳ヘヨ

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十三年十月二十四日(月)

海軍大臣官房

1052

海軍公報

(部内限) 第三千四十五號

海軍大臣官房

昭和十三年十月二十五日(火)

○令達

官房第五三三九號
 今次事變ニ於テ鹵獲セル戦利艦船二隻ヲ雜役船ニ編入
 シ其ノ船種、公稱番號、所屬等ヲ左ノ通定ム
 昭和十三年十月二十五日
 海軍大臣

(限 内 部)

船種	船名	所屬	別定數	記	事
交通船	飛鳥 <small>トビ</small>	佐世保海軍港務部 (第三艦隊司令部供用)	臨時附屬	支那事變戦利艦	艦本
工作船	早瀬 <small>ハヤセ</small>	佐世保海軍工廠 (第三艦隊司令部供用)	同	支那事變戦利艦	錦江

○通牒

經豫第三號ノ三〇八
 昭和十三年十月二十五日
 海軍省經理局長
 各支出官殿

日本銀行代理店設置ニ關スル件通知
 首題ノ件ニ關シ別紙ノ通大藏省理財局長ヨリ通牒有之
 候

(別紙)
 藏理第三三四號

昭和十三年十月十八日

大藏省理財局長 大野龍太

海軍省經理局長 武井大助殿

國庫金政府有價證券ヲ取扱フ日本銀行代理店ヲ今般
 中華民國上海ニ設置シ昭和十三年十月二十四日ヨリ之
 ガ取扱ヲ爲サシムルコトニ相成候ニ付此段及通牒候也
 追而本件ハ告示ノ手續ヲ採ラザルニ付御含置相成
 度、尙日本銀行ニ於テハ右代理店開設ノ日タル昭和
 十三年十月二十四日ヨリ杭州、蘇州及南京ニ右代理
 店ノ派出所ヲ開設シ同代理店事務ヲ補助セシムル趣
 ニ付申添候

海軍公報(部内限) 第三千四十五號 昭和十三年十月二十五日

一二六三

1053

航本機密第七九〇六號

航空發動機附屬品ノ名稱ヲ別紙ノ通定ム

昭和十三年十月二十五日

海軍航空本部長

(別紙一葉添)

○辭令

海軍技師 林 武治

技術部第一課勤務ヲ命ス
主トシテ在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(海軍航空本部)

○雜款

○特務艦尻矢行動豫定

地名 着

發

横須賀

羅府

ホノル

横須賀

十一月十三日

十一月十八日

十二月三日

○郵便物發送先

聯合艦隊各艦宛

自今

各所屬軍港

軍艦青葉宛

自今

佐世保

○學生着任期日

十一月一日任命セラレベキ本校各種學生ハ十一月五日(土)〇九〇〇始業式施行ニ付同時刻迄ニ着任セシメラレ度

(海軍通信學校)

○艦船所在 印ハ「ハカ」ヲ
指定ヲ要セズ

○十月二十五日午前十時調

【横須賀】 對馬、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、
木曾

戸曉、漣、狹霧、戸響、雷、電、羽風、
沖風、峯雲

掃二 富士、洲崎、室戸

(飛龍) (高崎) (劍崎)

【長浦】 戸旗風、戸秋風、山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、
戸伊一二三、伊一二四

【石川島】 太刀風

(掃一〇)

【横濱】 掃五、掃六

【浦賀】 夕風

(霞) (不知火) (掃八)

【館山】 長門、赤城

澤風

【大湊】 波風、早苗

大泊

【函館】 若竹、吳竹

【吳】 矢矧、韓崎、比叡、衣笠、淀、淺間、扶桑、
古鷹、加古、最上、大井

夕顔、戸菊、葵、萩、戸磯波、綾波、浦波、
戸初雪、白雪、吹雪、戸矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、
呂二八、伊五一、戸伊五三、伊五五、
戸呂三四、呂三三、戸伊五七、伊五六、
伊五八、戸伊七二、伊七三、伊七一、
戸伊六六、伊六五、伊六七、伊七四、
戸伊一二一、伊一二二、
(千代田)、(伊一六)

【大阪】 (黒潮)

【神戸】 伊五四、呂五七、呂五九

(瑞穂) (伊八) (伊七五)

襟裳、早鞆

【相生】 (掃七)

朝風、松風、春風

【因ノ島】 平戸

吾妻、高雄、長鯨、愛宕、敷波、帆風

伊五二

(霞) (陽炎) (掃九)

榛名、那智、北上、常磐、戸名取、
青葉

梨、竹、樞、桃、柳、楡、董、戸夕風、
朝風、戸若葉、初霜、子日、初春、
戸朝潮、大潮、滿潮、荒潮、峯風、文月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇

海軍公報(部内限) 第三千四十五號 昭和十三年十月二十五日 一二六五

1055

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、呂六六、
呂六五▲、呂六七、呂六八、呂六三、
雁▲

敷島▲、攝津、鳴戸、間宮、野島

(明石)▲

羽黒▲

佐多▲

(利根)▲、(筑摩)▲

【長崎】

【鎮海】

【元山】

【作樂地】

沖島、出雲、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
堅田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、
八重山、白鷹、川内、足柄、球磨、
妙高、多摩、天龍、龍田、長良、加賀、
神威、能登呂、勝力、千歲、迅鯨、那珂、
由良、鬼怒、神通、蒼龍、龍驤、
陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、大鯨、
島海、摩耶、熊野、鈴谷、三隈、阿武隈、
駒橋、
栗、梅、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、
白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、
涼風、山風、水無月、長月、薄、藤、
葛、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、
望月、三日月、追風、疾風、蓼、蓬、
菱、島風、沙風、灘風、皐月、臘、

潮、曙、天霧、朝霧、夕霧、白雲、薄雲、
叢雲、東雲、陸月、卯月、彌生、如月、
沼風、野風

伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、
伊七、伊七〇、伊六八、伊六九、
伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、
伊六一、伊六二

伊六、鶴、鴨、鴻、千鳥、初雁、友鶴、
真鶴、鳩、鷺、雉

掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、膠州、鶴見、知床、隠戸

石廊 (十四日羅府發「ホノルル」)

尻矢 (二十日横須賀發「羅府」)

八雲、磐手 (二十三日鳥羽發「佐世保」)

楡 (二十四日仁川發「群山」)

夏雲、朝雲 (二十四日横須賀發「館山」)

神風 (二十四日長浦發「相模灘」)

【航海中】

(別紙)

真空ポンプ		点火栓					起動用 磁石發電機		磁石發電機							起動装置			種別						
真空ポンプニ型	真空ポンプ一型	ヨコカワRT3点火栓	テルコRT2点火栓	テルコRT1点火栓	アイチRE3B点火栓	アイチRT2点火栓	アイチRT1点火栓	空廠B型起動用磁石發電機	空廠A型起動用磁石發電機	横河9BF ₂ 磁石發電機	横河9BE磁石發電機	空廠14CF ₂ 磁石發電機	空廠12B磁石發電機	空廠9BF ₂ 磁石發電機	空廠9BF ₂ 磁石發電機	國産GE7磁石發電機	同	電動慣性起動器一型	同	同	慣性起動器一型	名稱	圖面整備元	製造所	記事
同	東京計器	横河電機	同	立川工作所	同	同	愛知化學工業	國産電機	航空廠	同	横河電機	同	航空廠	同	同	國産電機	同	同	同	同	東京計器	東京計器	東京計器	型式名奇數番ハ左廻リ偶數番ハ右廻リ	
自動操縦装置用	計器用								航空廠、國産電機	同	横河電機	航空廠、國産電機	同	同	同	同	同	同	同	同				「右廻リ」、「左廻リ」、ハ夫々「IR」、「IL」ヲ附シ「空廠14CF ₂ IL磁石發電機」ノ如ク呼稱ス	
									引手ヲ以テ作動スルモノ															同轉把手ヲ以テ作動スルモノ	

(昭和十三年十月二十五日公報部内限)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千四十六號

昭和十三年十月二十六日(水)
海軍大臣官房

○通牒

經契第三號ノ二、〇三九
昭和十三年十月一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

艦船用各種電線統制契約更改ノ件通牒

四月一日附經契第三號ノ九九九通牒首題艦船用各種電線統制契約ニ關シ別紙ノ通、古河電氣工業株式會社、株式會社住友電線製造所及藤倉電線株式會社ト更改契約締結致候條右ニ依リ處理相成度

更改契約書

昭和十三年四月一日附海軍省經理局長村上春一ト古河電氣工業株式會社、株式會社住友電線製造所、藤倉電線株式會社トノ間ニ契約締結セル艦船用各種電線ノ契約書中一部左ノ通更改ス
一、價格表ニ別紙ノ通追加ス

右更改契約ヲ證スル爲本書試通ヲ作成シ各自署名捺印シテ各共ノ一通ヲ保有ス

昭和十三年十月一日

海軍省經理局長 武井大助
古河電氣工業株式會社
株式會社住友電線製造所
藤倉電線株式會社

追テ別紙ハ所要ノ向ニ配付ス

○辭令

藤田 敏郎

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額參千六百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

陸軍歩兵少尉 齋藤 重保

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上ヲ以テ海軍省)

海軍公報 (部内限) 第三千四十六號

昭和十三年十月二十六日

一二六七

1058

○ 雜 款

○進水
驅逐艦黒潮十月二十五日株式會社藤永田造船所ニ於テ
進水セリ

○司令驅逐艦復歸
第一驅逐隊司令ハ十月二十四日司令驅逐艦ヲ沼風ヨリ
野風ニ復歸セリ

○郵便物發送先
驅逐艦太刀風宛
十一月二日迄ニ到達見込ノモノハ 長 浦
其ノ後ハ 石 川 島

軍艦瑞穂裝員事務所宛
十月二十八日迄ニ到達見込ノモノハ
十一月七日迄ニ 同 神戸海軍監督官事務所内
兵庫縣赤穂郡相生町
其ノ後ハ 播磨造船所内
神戸海軍監督官事務所内

○郵便物發送先變更
軍艦赤城宛
十月二十八日迄ニ到達見込ノモノハ 館 山
其ノ後ハ 横 須 賀

○書類發送先
第七驅逐隊宛ノ書類ハ自今各艦宛送付相成度
追テ
司令宛ハ
隊機關長、主計長宛ハ
隊軍醫長宛ハ
潮 曙 臈

○艦船所在

指印ハハホホ
定ヲ要セズ

○十月二十六日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城▲春日▲
木曾

戸曉▲漣▲狭霧、戸響▲雷▲電▲羽風▲

沖風、峯雲▲

掃二

富士▲、洲崎

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)

【長浦】

旗風、戸秋風、山雲、神風
呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

戸伊一二三、伊一二四

【石川島】

太刀風▲

(掃一○)

【横濱】

掃五▲、掃六▲

【浦賀】

夕風▲
(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】

長門、赤城
澤風▲

【大湊】

波風、早苗
大泊

【函館】

若竹▲、吳竹

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲淀、淺間、扶桑▲古鷹▲
加古▲、最上、大井

夕顔、戸菊、葵、萩、戸磯波▲綾波、浦波▲
戸初雪、白雪、吹雪、戸矢風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一▲、戸伊五三▲、伊五五、

戸呂三四、呂三三、戸伊五七、伊五六、

伊五八、戸伊七二、伊七三、伊七一▲

戸伊六六、伊六五▲、伊六七、伊七四▲

戸伊一二一、伊一二二

(千代田)、(伊一六)▲

【大阪】

(黒潮)▲

【神戸】

伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

【相生】

(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【玉】

襟裳▲、早鞆

【因ノ島】

(掃七)▲

【江田内】

朝風▲、松風▲、春風▲

【舞鶴】

平戸▲
吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風

【佐世保】

伊五二▲
(叢)▲(陽炎)▲(掃九)▲
榛名▲、那智▲、北上▲、常磐▲、戸名取▲
青葉▲、戸八雲、磐手

【梨】

梨▲竹▲榎▲桃▲柳▲檜▲董▲、戸夕風▲

【朝風】

朝風▲、戸若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲

【朝潮】

朝潮▲、大潮▲、滿潮▲、荒潮▲、峯風、沼風

【呂三〇】

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲

呂六一、呂六二、呂六四、呂六六、
呂六五、呂六七、呂六八、呂六三、
雁▲

敷島▲、攝津、鳴戸、間宮、野島

(明石)▲

【長崎】

羽黒▲

佐多▲

(利根)▲(筑摩)▲

【鎮海】

【麗水】

【元山】

【ホノルル】

【作業地】

石廊
沖島、出雲、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
堅田、比良、保津、熱海、二見、殿島、
八重山、白鷹、川内、足柄、球磨、
妙高、多摩、天龍、龍田、長良、加賀、
神威、能登呂、勝力、千歳、迅鯨、那珂、
由良、鬼怒、神通、若龍、龍驤、
陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、大鯨、
鳥海、摩耶、熊野、鈴谷、三隈、阿武隈
駒橋
栗、梅、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、
白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、
涼風、山風、水無月、長月、薄、藤、
葛、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、

望月、三日月、追風、疾風、蓼、蓬、
菱、島風、汐風、灘風、皐月、朧、
潮、曙、天霧、朝霧、夕霧、白雲、薄雲、
叢雲、東雲、陸月、卯月、彌生、如月、
野風、文月、

伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、
伊七、伊七〇、伊六八、伊六九、
伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、
伊六一、伊六二

隼、鶴、鴨、鴻、千鳥、初雁、友鶴、
真鶴、鳩、鷺、雉

掃一、掃三、掃四、掃一六、掃二三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、膠州、鶴見、知床、隠戸

航海中

尻矢 (二十日横須賀發—羅府へ)

夏雲 (二十四日横須賀發—館山へ)

衣笠 (二十五日吳發—佐世保へ)

室戸 (二十五日横須賀發—神戸へ)

品名		規格		単價		擔當會社		記事	
二心紙絕緣被鉛裝鐵線	3	A	1-1	一六九一〇〇〇	藤倉				
	2		2-1	一七五六〇〇〇					
	2		3-1	一八九八〇〇〇					
	2		4-1	二〇四五二〇〇					
	2		5-1	二一六五〇〇〇					
	2		6-1	二二四一七〇〇					
	2		7-1	二二六一〇〇〇					
	2		8-1	二三〇六三〇〇					
	2		9-1	二三四一三〇〇					
	2		10-1	二四〇二九〇〇					
	2		11-1	二四六八五〇〇					
	2		12-1	二五二九〇〇〇					
	2		13-1	二五八九〇〇〇					
	2		14-1	二六六四六〇〇					
	2		15-1	二七三〇二〇〇					
	2		16-1	二七八〇八〇〇					
	2		17-1	二九三一四〇〇					
	2		18-1	二九八二〇〇〇					
	2		19-1	三〇三二六〇〇					
	2		20-1	三〇八三二〇〇					
	2		21-1	三一三三八〇〇					
	2		22-1	三一八四四〇〇					
	2		23-1	三二三五〇〇〇					
	2		24-1	三二八五六〇〇					
	2		25-1	三三三七二〇〇					
	2		26-1	三三九〇八〇〇					
	2		27-1	三四〇四四〇〇					
	2		28-1	三四一八〇〇〇					
	2		29-1	三四三一六〇〇					
	2		30-1	三四四五二〇〇					
	2		31-1	三四五八八〇〇					
	2		32-1	三五一二四〇〇					
	2		33-1	三五二六〇〇〇					
	2		34-1	三五三九六〇〇					
	2		35-1	三五五三二〇〇					
	2		36-1	三五六六八〇〇					
	2		37-1	三五八〇四〇〇					
	2		38-1	三五九四〇〇〇					
	2		39-1	三六〇七六〇〇					
	2		40-1	三六二一二〇〇					
	2		41-1	三六三四八〇〇					
	2		42-1	三六四八四〇〇					
	2		43-1	三六六二〇〇〇					
	2		44-1	三六七五六〇〇					
	2		45-1	三六九〇二〇〇					
	2		46-1	三七〇三八〇〇					
	2		47-1	三七二二四〇〇					
	2		48-1	三七三六〇〇〇					
	2		49-1	三七四九六〇〇					
	2		50-1	三七六三二〇〇					
	2		51-1	三七七六八〇〇					
	2		52-1	三七九〇四〇〇					
	2		53-1	三八〇四〇〇〇					
	2		54-1	三八一七六〇〇					
	2		55-1	三八三一二〇〇					
	2		56-1	三八四四八〇〇					
	2		57-1	三八五八四〇〇					
	2		58-1	三八七二〇〇〇					
	2		59-1	三八八五六〇〇					
	2		60-1	三九〇〇二〇〇					
	2		61-1	三九一三八〇〇					
	2		62-1	三九三二四〇〇					
	2		63-1	三九四六〇〇〇					
	2		64-1	三九五九六〇〇					
	2		65-1	三九七三二〇〇					
	2		66-1	三九八六八〇〇					
	2		67-1	四〇〇〇四〇〇					
	2		68-1	四〇一四〇〇〇					
	2		69-1	四〇二七六〇〇					
	2		70-1	四〇四一二〇〇					
	2		71-1	四〇五四八〇〇					
	2		72-1	四〇六八四〇〇					
	2		73-1	四〇八二〇〇〇					
	2		74-1	四〇九五六〇〇					
	2		75-1	四一〇九二〇〇					
	2		76-1	四一二二八〇〇					
	2		77-1	四一三六四〇〇					
	2		78-1	四一四九九〇〇					
	2		79-1	四一六三五〇〇					
	2		80-1	四一七八一〇〇					
	2		81-1	四二〇〇七〇〇					
	2		82-1	四二一四三〇〇					
	2		83-1	四二二七九〇〇					
	2		84-1	四二四一五〇〇					
	2		85-1	四二五五一〇〇					
	2		86-1	四二六八七〇〇					
	2		87-1	四二八二三〇〇					
	2		88-1	四二九五九〇〇					
	2		89-1	四三〇九五〇〇					
	2		90-1	四三一九一〇〇					
	2		91-1	四三三〇七〇〇					
	2		92-1	四三四四三〇〇					
	2		93-1	四三五七九〇〇					
	2		94-1	四三七一五〇〇					
	2		95-1	四三八五一〇〇					
	2		96-1	四三九九七〇〇					
	2		97-1	四四一三三〇〇					
	2		98-1	四四二六九〇〇					
	2		99-1	四四四〇五〇〇					
	2		100-1	四四五四一〇〇					

(別表) (昭和十三年十月二十六日公報 (部内限) 別紙)

海軍公報 (部内限) 第三千四十七號

昭和十三年十月二十七日(木)
海軍大臣官房

○通牒

經契第三號ノ二二一五

昭和十三年十月一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿
諸管類購買合併契約更改ノ件通知
昭和十三年七月一日經契第三號ノ一、一六〇通牒首題
契約中左記ノ通更改致候條御了知相成度

記

更改契約書

昭和十三年七月一日附海軍省經理局長武井大助ト住友
金屬工業株式會社、湯淺伸銅株式會社、古河電氣工業
株式會社トノ間ニ締結セル銅管類供給契約ニ關スル契
約書中更改スルコト左ノ如シ
第一條ノ價格表ヲ別紙ノ通更改ス
右更改契約ヲ證スル爲本書ニ通ヲ作製シ各自署名調印

シテ各其ノ一通ヲ保有スルモノナリ

昭和十三年十月一日

海軍省經理局長 武井大助

住友金屬工業株式會社

湯淺伸銅株式會社

古河電氣工業株式會社

別紙ハ所要ノ向ニ配布ス

更改契約書

昭和十三年七月一日附海軍省經理局長武井大助ト株式
會社神戶製鋼所取締役社長田宮嘉右衛門トノ間ニ締結
セル銅及黃銅管類供給契約ニ關スル契約書中更改スル
コト左ノ如シ
第一條ノ價格表ヲ別紙ノ通更改ス
右更改契約ヲ證スル爲本書ニ通ヲ作製シ各自署名調印
シテ各其ノ一通ヲ保有スルモノナリ

昭和十三年十月一日

海軍省經理局長 武井大助

海軍公報 (部内限) 第三千四十七號

昭和十三年十月二十七日

一二七

1063

神戸葺合區腸濱町一ノ三一
株式會社神戸製鋼所
取締役社長 田宮嘉右衛門
別紙ハ所要ノ向ニ配布ス

○辭令

海軍艦政本部附 海軍技師 廣瀬 國道
兼造兵監督官
東京監理官ヲ命ス(二十五日海軍省)

(各通)

水路部附海軍編修書記 石井規矩次
海軍技師 菅井剛彦
同 田中俊之
支那方面艦隊司令部附ヲ命ス(二十七日海軍省)

○雜款

○特設運送船朝光丸行動豫定

地名	着	發
佐世保	十一月四日	十一月五日
佐業地		
八幡保	十二月十二日	十二月十二日
西戶崎	十二月十五日	十二月十八日

地名	着	發
吳	十一月十九日	十一月十九日
大坂	十一月二十二日	十一月二十二日
横須賀	十一月二十四日	十一月二十四日
大須賀	十一月二十九日	十一月二十九日
横須賀	十二月六日	十二月八日
佐世保	十二月十一日	十二月十一日

○特設運送船旭光丸行動豫定

地名	着	發
吳	十一月四日	十一月三日
長崎	十一月六日	十一月六日
佐世保	十一月八日	十一月七日
西戶崎	十一月十日	十一月九日
鎮海	十一月十五日	十一月十二日
鎮南浦	十一月二十三日	十一月二十日
吳	十一月二十五日	十一月二十五日
神戶	十一月二十六日	十一月二十六日
大阪	十一月二十六日	十一月二十六日
大須賀	十一月二十九日	十一月二十七日
横須賀		

○郵便物發送先

軍艦北上宛
自今
第二砲艦隊、長平丸宛
十一月八日迄ニ到達見込ノモノハ
浦賀
品

鮮海丸宛

十一月二日迄ニ同
其ノ後兩艦ノ殘務整理ハ吳防備隊内ニ於テ處理ノ
豫定

特設運送船朝光丸宛

十一月十二日迄ニ到達見込ノモノハ
同十七日迄ニ同
同二十一日迄ニ同
同二十六日迄ニ同
同三十一日迄ニ同
十二月三日迄ニ同
同七日迄ニ同
其ノ後ハ
佐世保
福岡縣西戸崎
吳
横須賀
大湊
横須賀
横須賀
佐世保

特設運送船旭光丸宛

十一月二日迄ニ到達見込ノモノハ
同五日迄ニ同
同六日迄ニ同
同八日迄ニ同
同十一日迄ニ同
同十九日迄ニ同
同二十四日迄ニ同
同二十六日迄ニ同
十二月二日迄ニ同
吳
長崎
佐世保
西戸崎
鎮海
鎮南浦
吳
神戶
横須賀

海軍公報(部内限)第三千四十七號

昭和十三年十月二十七日

一二七三

○ 艦船所在

▲印 (ハハホ)
指定ヲ要セズ

○十月二十七日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲、五十鈴▲、山城▲、春日▲、木曾

伊曉▲、漣▲、狹霧、伊響▲、雷▲、電▲、羽風▲、沖風▲、峯雲▲

掃二

富士▲、洲崎

(飛龍)▲(高崎)▲(劍崎)

【長浦】

伊旗風、伊秋風、山雲、神風、呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一二三、伊一二四

伊一二三、伊一二四

【石川島】

太刀風

(掃一)○▲

【横濱】

掃五▲、掃六▲

【浦賀】

夕風▲、(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】

長門、赤城、澤風▲

【大湊】

波風、早苗、大泊

【函館】

若竹▲、吳竹

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲、加古▲、最上、大井

夕顔、伊菊、葵、萩、伊磯波▲、綾波、浦波▲、伊初雪、白雪、吹雪、伊矢風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、呂二八▲、伊五一▲、伊五三▲、伊五五、

伊三四、呂三三、伊五七、伊五六、伊五八、伊七二、伊七三、伊七一▲、

伊六六、伊六五▲、伊六七、伊七四▲、伊一二一、伊一二二

(千代田)、(伊一六)▲

伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

室戸

(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲

襟裳▲、早鞆▲

(掃七)▲

朝風▲、松風▲、春風▲

平戸▲

吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風

伊五二▲

(霞)▲(陽炎)▲(掃九)▲

榛名▲、那智▲、北上▲、常磐▲、伊名取▲、青葉、衣笠、伊八雲、磐手

梨▲、竹▲、樺▲、桃▲、柳▲、檜▲、童▲、伊夕風▲、朝風▲、伊若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、

伊朝潮▲、大潮▲、滿潮▲、荒潮▲、峯風、沼風

伊五二▲

(佐世保)

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、呂六四、呂六六、
呂六五▲、呂六七、呂六八、呂六三、
雁▲

敷島▲、攝津、鳴戸、間宮、野島

(明石)▲

【長崎】

羽黒▲
佐多▲

(利根)▲(筑摩)▲

【鎮海】

石廊

【作業地】

戸沖島、出雲、戸八重山、安宅、嵯峨、鳥羽、
勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
殿島、白鷹、戸川内、戸足柄、戸球磨、
戸妙高、多摩、戸天龍、龍田、戸長良、戸加賀、
戸神威、能登呂、勝力、千歲、迅鯨、戸那珂、
由良、鬼怒、戸神通、戸蒼龍、龍驤、
戸陸奥、日向、伊勢、戸霧島、金剛、戸大鯨、
戸島海、摩耶、戸熊野、鈴谷、三隈、戸阿武隈、
駒橋
栗、梅、蓮、戸夕立、村雨、春雨、五月雨、
戸白露、有明、夕暮、時雨、戸江風、海風、
涼風、山風、戸水無月、長月、戸薄、藤、
葛、戸芙蓉、朝顔、刈萱、戸菊月、夕月、
望月、三日月、戸追風、疾風、戸蓼、蓬、

【航海中】

尻矢 (二十日横須賀發—羅府—)
戸夏雲、朝雲 (二十四日横須賀發—館山—)
戸革 (二十六日元山發—鎮海—)
榆 (二十七日麗水發—鎮海—)

菱、戸島風、汐風、灘風、臯月、戸隴、
曙、潮、戸天霧、朝霧、夕霧、戸白雲、薄雲、
叢雲、東雲、戸陸月、卯月、彌生、如月、
戸野風、文月
戸伊一、伊二、伊三、戸伊六、伊四、伊五、
伊七、戸伊七〇、伊六八、伊六九、
戸伊六三、伊五九、伊六〇、戸伊六四、
伊六一、伊六二
戸隼、鶺鴒、鶺鴒、戸千鳥、初雁、友鶴、
真鶴、戸鳩、鶯、雉
戸掃一、掃三、掃四、戸掃一六、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八
戸朝日、膠州、鶴見、知床、隠戸

海軍公報 (部内限) 第三千四十八號

昭和十三年十月二十八日(金)
海軍大臣官房

○通牒

軍務二機密第一〇六四號

昭和十三年十月二十七日

海軍省軍務局長

内令提
要登載

海軍省軍務局長

各鎮守府參謀長
各要港部參謀長
各鎮守府參謀長
各要港部參謀長

運送艦船ニ家族便乗ノ件申進

今次事變中當分ノ間海上運輸規程第十七條ニ依ル海軍
軍人軍屬ノ家族從者ノ海軍運送艦船ニ便乗ハ之ヲ許可
セザルコトニ定メラレ候ニ付了知相成度

軍需機密燃第一二九號ノ二

昭和十三年十月二十七日

海軍省軍需局

關係各廳御中

航空燃料使用區分ノ件中改正ノ件通知

昭和十二年軍需機密燃第四二號航空燃料使用區分ノ件

中左記ノ通改メラレ候

記

航空八五揮發油ヲ使用スベキ發動機中

「九一式五百馬力發動機二型」ヲ「九一式五百馬力發

動機二型」ニ、「天風發動機」ヲ「天風發動機二型」

ニ改ム

ニ改ム

(總管需品燃料取扱例規三六九頁參照)

○雜款

○郵便物發送先

南支海軍特務部長宛

自今

佐世保郵便局氣付(軍事郵便)

○懲罰特免

懲罰特免告達書

海軍公報(部内限) 第三千四十八號 昭和十三年十月二十八日

一二七七

海軍公報(部内限) 第三千四十八號 昭和十三年十月二十八日

一三七八

1069

○艦船所在

指印ハハホセ
定ヲ要セズ

○十月二十八日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、木曾

伊曉、漣、狹霧、巨響、雷、電、羽風、沖風、峯雲、神風、澤風

掃二 富士、洲崎

(飛龍) (高崎) (劍埼)

【長浦】 旗風、秋風、太刀風、山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一二三、伊一二四

【石川島】 (掃一〇)

【横濱】 掃五、掃六

【浦賀】 夕風

(霞) (不知火) (掃八)

【館山】 赤城

波風、早苗

【函館】

若竹、吳竹、矢矧、韓崎、比叡、淀、淺間、扶桑、古鷹、加古、最上、大井

夕顔、巨菊、葵、萩、巨磯波、綾波、浦波、巨初雪、白雪、吹雪、巨矢風

【大阪】 (黒潮)

伊五四、呂五七、呂五九

【相生】 襟裳、早鞆

【玉】 (掃七)

【因ノ島】 朝風、松風、春風

【江田内】 平戸

吾妻、高雄、長鯨、愛宕、敷波、帆風、伊五二

【佐世保】 (霞) (陽炎) (掃九)

榛名、那智、北上、常磐、巨名取、青葉、衣笠、巨八雲、磐手

梨、竹、樞、桃、柳、檜、董、巨夕風、朝風、巨若葉、初霜、子日、初春

巨朝潮、大潮、滿潮、荒潮、峯風、沼風、呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇

呂六一、呂六二、呂六四、呂六六、呂六五、呂六七、呂六八、呂六三

呂六五、呂六七、呂六八、呂六三

雁▲

敷島▲、攝津、鳴戸、間宮、野島

【長崎】

羽黒▲

佐多▲

(利根)▲(筑摩)▲

【鎮海】

石廊

【作業地】

沖島、出雲、八重山、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、白鷹、川内、足柄、球磨、妙高、多摩、天龍、龍田、長良、加賀、神威、能登呂、勝力、千歳、迅鯨、那珂、由良、鬼怒、神通、蒼龍、龍驤、陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、大鯨、鳥海、摩耶、熊野、鈴谷、三隈、阿武隈

駒橋

栗、梅、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、水無月、長月、薄、藤、葛、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、三日月、追風、疾風、蓼、蓬、菱、島風、沙風、灘風、阜月、臘、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、白雲、薄雲、叢雲、東雲、睦月、卯月、彌生、如月、

野風、文月

伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、伊七、伊七〇、伊六八、伊六九、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、伊六一、伊六二

隼、鶴、鴨、鴻、千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鳩、鷺、雉

掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、膠州、鶴見、知床、隠戸

【航海中】

尻矢 (二十日横須賀發—羅府へ)

夏雲、朝雲 (二十四日横須賀發—館山へ)

室戸 (二十七日神戸發—吳へ)

長門 (二十八日館山發)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

○令 達

官房第五四三六號

海 軍

大元帥陛下ニハ本日兩幕僚長ヲ召サセラレ左ノ 御言

葉ヲ賜ハリタリ

昭和十三年十月二十八日

海軍大臣 米 内 光 政

御 言 葉

我陸海軍諸部隊カ緊密適切ニ協力シ長途幾多ノ困難
ヲ克服シ遂ニ衆敵ヲ擊摧シテ武漢攻略ノ目的ヲ達成
スルニ至レルハ深ク満足ニ思フ此旨將兵ニ申傳ヘヨ

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十三年十月二十八日(金)

海軍大臣官房

1072

海軍公報

(部内限) 第三千四十九號

昭和十三年十月二十九日(土)

海軍大臣官房

○令 達

海軍諸例
附登載

官房第五四三七號

大正十四年官房第四八〇號中左ノ通改正ス

昭和十三年十月二十九日

海軍大臣

「及警備艦船」ヲ「警備艦船、部隊等」ニ改ム

大正十四年官房第四八〇號ハ支那ニ在ル海軍集會所及警備艦船ニ於テ傭人ノ代員ニ支那人使役ノ件ナリ(諸例則卷二、七八八頁)

官房第五四三八號

授 受

爾今艦船部隊ニ於テ左記兵器及艦營需品ヲ貸與シタル場合ハ其ノ期間中之ニ要スル艦營需品消耗品ハ艦營需品定額表定數外トシ告知豫算内ヲ以テ供給スルコトヲ得

昭和十三年十月二十九日

海軍大臣

記

一、兵器

照準演習記録器

机上射擊演習機

測深器

高角射擊盤

受信機及電信機

現字機

二、艦營需品(備品)

小型兵棋演習器

○通牒

經契第三號ノ二〇九九

昭和十三年十月一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

復水器用アルブラック管單價協定ノ件通知

昭和十年四月一日附經契第參號ノ五貳參通知首題ニ關

スル追書ノ件左記ノ通

記

(限 内 部)

海軍公報(部内限) 第三千四十九號

昭和十三年十月二十九日

一一八一

1073

一、期 間

自昭和十三年十月三十一日
至昭和十三年十二月三十一日

一、價 格

外徑壹六耗 厚壹・貳耗ノモノ

壹貳ニ付 金壹圓九拾貳錢

外徑壹〇耗 厚壹・〇耗ノモノ

壹貳ニ付 金貳圓六錢

其ノ他從前通

經契第三號ノ二、一〇〇

昭和十三年十月一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

復水器用アルミプラス管單價協定ノ件通知

昭和十二年四月一日附經契第參號ノ五八壹通知首題ニ
關スル追書ノ件左記ノ通 記

一、期 間

自昭和十三年十月三十一日
至昭和十三年十二月三十一日

一、價 格

外徑壹六耗 厚壹・貳耗 長五米以下ノモノ

壹貳ニ付 金壹圓九拾貳錢

○ 辭 令

海軍主計少佐 池田 晴男

廣東特務部ニ要スル經費支拂ノ爲支那方面艦隊經費
分任出納官吏ヲ命ス(計部)支出官海軍省經理局長)

(各通)

海軍機關中佐 澤井 秀夫

海軍造兵大尉 永嶺 忠雄

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(計部)海軍航空
本部)

○ 雜 款

○司令驅逐艦一時變更

第五驅逐隊司令ハ十月二十七日司令驅逐艦ヲ一時旗風
ヨリ朝風ニ變更セリ

第十一驅逐隊司令ハ十月二十八日司令驅逐艦一時初雪
ヨリ白雪ニ變更セリ

○艦船所在

△印△ハ△ホ△フ
指定ヲ要セズ

○十月二十九日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、木曾、長門

△曉、△漣、△狹霧、△響、△雷、△電、△羽風、△沖風、△峯雲、△神風

掃二

富士、洲崎

(飛龍) (高崎) (劍埼)

【長浦】△旗風、△秋風、△太刀風、△山雲、△夏雲、△朝雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

△伊一二三、△伊一二四

【石川島】(掃一○) △

【横濱】掃五、掃六 △

【浦賀】夕風 △

(霞) (不知火) (掃八) △

【館山】澤風 △

【大湊】波風、早苗

大泊

【函館】若竹、吳竹

【吳】矢矧、韓崎、比叡、淀、淺間、扶桑、古鷹、加古、最上、大井

夕顔、△菊、△葵、△萩、△磯波、△綾波、△浦波、△

△白雪、△初雪、△吹雪、△矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、

呂二八、△伊五一、△伊五三、△伊五五、

伊五八、△伊七二、△伊七三、△伊七一、

△伊六六、△伊六五、△伊六七、△伊七四、

△伊一二一、△伊一二二

室戸

(千代田)、(伊一六) △

【大阪】(黒潮) △

伊五四、呂五七、呂五九

(瑞穂) (伊八) (伊七五) △

【相生】襟裳、早鞆 △

(掃七) △

朝風、松風、春風 △

【因ノ島】平戸 △

吾妻、高雄、長鯨、愛宕、敷波、帆風

【舞鶴】(叢) (陽炎) (掃九) △

榛名、那智、常磐、△名取、青葉、

衣笠、△八雲、磐手

梨、竹、樞、桃、柳、檜、董、△夕風、

朝風、△若葉、△初霜、△子日、△初春、

△朝潮、△大潮、△滿潮、△荒潮、△峯風、△沼風

呂三〇、△呂三一、△呂三二、△呂六〇、

△呂六一、△呂六二、△呂六四、△呂六六、

△呂六五、△呂六七、△呂六八、△呂六三、

海軍公報(部内限)第三千四十九號

昭和十三年十月二十九日

一一八三

【長崎】
雁▲
敷島▲、野島
(明石)▲
羽黒▲
佐多▲

【鎮海】
(利根)▲(筑摩)▲
【作業地】
口沖島、出雲、八重山、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、白鷹、川内、足柄、球磨、妙高、多摩、天龍、龍田、長良、加賀、神威、能登呂、勝力、千歳、迅鯨、那珂、由良、鬼怒、神通、蒼龍、龍驤、陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、大鯨、島海、摩耶、熊野、鈴谷、三隈、阿武隈、駒橋

栗、梅、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、水無月、長月、薄、藤、葛、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、三日月、追風、疾風、蓼、蓬、島風、汐風、灘風、阜月、朧、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、白雲、薄雲、叢雲、東雲、陸月、卯月、彌生、如月、野風、文月

【航海中】

伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、伊七、伊七〇、伊六八、伊六九、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、伊六一、伊六二
隼、鶴、鴨、鴻、千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鳩、鷺、雉
掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八
朝日、膠州、鶴見、知床、隱戸、攝津

尻矢 (二十日横須賀發—羅府へ)
北上 (二十八日佐世保發—浦賀へ)
伊五二 (二十八日舞鶴發—小泊へ)
伊三三、伊五七、伊五六 (二十八日吳發—演習地へ)
石廊 (二十八日「ホルル」發—吳へ)
問宮 (二十八日演習地發—吳へ)
鳴戸 (二十八日演習地發—横須賀へ)
赤城 (二十九日館山發—横須賀へ)

海軍公報

(部内限) 第三千五十號

昭和十三年十月三十一日(月)
海軍大臣官房

○令 達

官房機密第五二四〇號ノ二

提 要

第二聯合航空隊病院ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ハ第十
二航空隊主計長ヲシテ之ヲ掌理セシム

昭和十三年十月二十二日

海 軍 大 臣

官房機密第五八八二號

提 要

今次事變中支那方面艦隊ニ所屬又ハ供用ノ特務艇又ハ
雜役船ニシテ特ニ必要アルモノニ付テハ所屬又ハ供用
先應長ハ兵備品ノ取扱ニ關シ別ニ分任兵備品會計官吏
若ハ兵備品取扱主任ヲ置クコトヲ得此ノ場合ハ乘組ノ
判任官以上ニ之ヲ命ジ其ノ官職氏名ヲ關係兵備品會計
官吏ニ通報スルモノトス

昭和十三年十月三十一日

海 軍 大 臣

官房第五四五七號

提 要

昭和十三年十月三十一日

海 軍 大 臣

自今四等看護兵ニ對シテハ海兵團練習部規則第十七條
ノ規定ニ拘ラズ入團後約六週間海兵團ニ於テ教育ヲ實
施スルコトヲ得

海軍諸例
則登載

○通 牒

經豫機密第三號ノ一三

昭和十三年十月三十一日

海 軍 省 經 理 局 長

關係各支出官
關係各資金前渡官吏 殿

軍用手票使用ニ關スル件通牒

本年十月十五日經豫機密第三號ノ一一別紙中左記ノ通
改正セラレ候條了知相成度

記

(限 内 部)

海軍公報(部内限) 第三千五十號 昭和十三年十月三十一日

一三八五

1077

一 支那事變派遣部隊經費支辨軍用手票取扱手續中左ノ通改正

(昭和十三年十月二十二日官房秘乙第四九
九號ノ二大藏大臣ヨリ海軍大臣宛通牒)

第十條中「各部隊出納官吏」ノ下ニ「又ハ日本銀行代理店(派出所ヲ含ム以下同シ)」ヲ加フ

第十二條中「軍ニ於テ」トアルヲ「軍又ハ日本銀行代理店ニ於テ」ニ改ム

第十四條ノ二 日本通貨ヲ軍用手票ト引換ヲ請フモノアルトキハ軍又ハ日本銀行ニ於テ額面價額ヲ以テ之ガ引換ヲ爲スモノトス

二 支那事變派遣部隊經費支辨軍用手票取扱手續ノ實行方ニ關スル件左ノ通改正

(昭和十三年十月二十二日理密第八六四號大藏
省理財局長ヨリ海軍省經理局長宛依命通牒)

支那事變派遣部隊經費支辨軍用手票取扱手續ノ實行方ニ關スル件

第一、第八條ノ規定ニ依リ支出官又ハ資金前渡官吏

ガ軍用手票ノ排出ヲ受クルハ當分ノ内日本銀行本店又ハ横須賀、吳、佐世保若ハ上海(派出所ヲ含ム)代理店ニ限ルモノトス

前項以外ノ日本銀行ニ於テ軍用手票ノ排出ヲ要ス

ルトキハ豫メ大藏省ニ協議スルモノトス

第二、第十條乃至第十三條ノ規定ニ依リ日本銀行本店、支店又ハ代理店ニ於テ軍用手票ノ引換ヲ爲スハ當分ノ内左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限ルモノトス

一、軍人軍屬ナルコトヲ明ニ認メラルル場合

二、軍ノ身分證明書ヲ所持スル場合

三、軍ノ引換證明書ヲ所持スル場合

四、前各號ニ掲グル場合ノ外一人一回ノ引換要求高十圓以下ナル場合

前項以外ノ場合ニ於テ軍用手票ノ引換ヲ要スルトキハ大藏省ニ協議スルモノトス

第三、第十條乃至第十三條ノ規定ニ依リ日本銀行代理店ニ於テ軍用手票ノ引換ヲ爲ス場合ニ於テ引換通貨ナキトキハ引換通貨ノ到達スベキ時間引換ヲ延期スルコトヲ得ルモノトス

第四、第十四條ノ二ノ規定ニ依リ日本銀行ニ於テ日本通貨ト軍用手票ノ引換ヲ爲スハ當分ノ内同行本店又ハ横須賀、吳、佐世保若ハ上海(派出所ヲ含ム)代理店ニ限ルモノトス

前項以外ノ日本銀行ニ於テ日本通貨ト軍用手票ノ

1078

引換ヲ要スルトキハ大藏省ニ協議スルモノトス

航本機密第八一一三號

昭和十三年十月二十八日

海軍航空本部長

佐世保、廣海軍工廠長
海軍航空廠長殿

航空兵器修理材料供給ノ件通牒

四月一日航本機密第二〇〇〇號首題通牒ニ左記ヲ追加ス

記

供給先 年 額

木更津海軍航空隊殘留隊 五、〇〇〇圓

(昭和十三年四月八日海軍公報(部内限)参照)

○ 辭 令

軍令部出仕海軍少將 三竝 貞三

臨時戦史部勤務ヲ命ス(計第1011軍令部)

軍令部出仕海軍大尉 久住 忠男

(各通) 同 大谷 藤之助

同 山本 茂

第四部第十一課勤務ヲ命ス(計第1011軍令部)

海軍少佐 中山 義則(艦 本)

軍艦利根審議委員ヲ命ス

海軍大佐 村上 房三

軍艦利根審議委員ヲ免ス(以上計第1011海軍艦政本部)

○ 雜 款

○特務艦室戸行動豫定

地名 着

吳 地 十一月十二日 發

佐世保 十一月十三日

横須須 十一月十八日

神戶 十一月二十二日

吳 十一月二十四日

佐世保 十一月二十七日

吳 十一月二十九日

○郵便物發送先

第二水雷戰隊、第二航空戰隊各艦宛

佐世保郵便局氣付 (本月二十五日本欄参照)

驅逐艦帆風宛

十一月二日迄ニ到達見込ノモノハ 隱岐西郷

海軍公報(部内限)第三千五十號

昭和十三年十月三十一日

二二八七

其ノ後ハ

東舞鶴

特務艦室戸宛

十一月十一日迄ニ到達見込ノモノハ	吳
同 十三日迄ニ	佐世保
同 十九日迄ニ	同
同 二十五日迄ニ	吳須賀
同 二十七日迄ニ	同
其ノ後ハ	吳世保

○事務所設置

佐世保海軍建築部馬公出張所事務所ヲ高雄通信隊内ニ設置シ十月二十八日ヨリ事務ヲ開始セリ

○訂正

九月十三日號外令達欄官房第三五六號ノ六備考(裝備機關)欄中公稱第一〇五九號、同第一〇六〇號、同第一〇六一號ノ項「ブダ六〇馬力揮發油發動機二基」ヲ「ヒ式一型一基(一二〇馬力)ニ、公稱第一〇六四號、同第一〇六五號、同第一〇六六號ノ項「ヒ式一型一基(一二〇馬力)ヲ「ブダ六〇馬力揮發油發動機二基」ニ改ム

九月二十九日辭令欄

海軍主計少佐福本西吉ノ辭令中「南支海軍特務部」ヲ「厦門特務部」ニ訂正ス

○艦船所在 △印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○十月三十一日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、
木曾、長門、赤城

▽曉、漣、狹霧、響、雷、電、羽風、
沖風、峯雲、神風

伊七

掃二

富士、洲崎

(飛龍) (高崎) (劍埼)

【長浦】

旗風、秋風、太刀風、山雲、夏雲、
朝雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八

【石川島】

(掃一〇)

【横濱】

掃五、掃六

北上

夕風

【館山】

(霞) (不知火) (掃八)

澤風

【大湊】

波風、早苗

【函館】

若竹、吳竹

【吳】

矢矧、韓崎、比叡、淀、淺間、扶桑、古鷹、
加古、最上、大井、日向、伊勢、大鯨

▽熊野、鈴谷、三隈

夕顔、豹、葵、萩、磯波、綾波、浦波、
白雲、初雪、吹雪、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、
呂二八、伊五一、伊五三、伊五五、

呂三四、呂三三、伊五七、伊五六、
伊五八、伊七二、伊七三、伊七一、

伊六六、伊六五、伊六七、伊七四、
伊一二一、伊一二二、伊七〇、伊六八、
伊六九

攝津

(千代田) (伊一六)

(黑潮)

伊五四、呂五七、呂五九

(瑞穂) (伊八) (伊七五)

襟裳、早鞆

(掃七)

因ノ島、朝風、松風、春風

江田内、平戸

吾妻、高雄、長鯨、愛宕、敷波、帆風

(霞) (陽炎) (掃九)

伊五二

佐世保

榛名、那智、常磐、名取、青葉、
衣笠、霧島、金剛、阿武隈

梨、竹、樞、桃、柳、檜、堇、夕風

朝風▲、□若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、
 □朝潮▲、大潮▲、滿潮▲、荒潮▲、峯風、沼風、
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
 呂六一▲、呂六二▲、呂六四、呂六六、
 呂六五▲、呂六七、□呂六八、呂六三、
 □伊六三、伊五九、伊六〇、□伊六四、
 伊六一、伊六一

【長崎】

救島▲、室戸
 (明石)▲
 羽黒▲
 佐多▲

(利根)▲、(筑摩)▲

【鎮海】□葦、榆、柿
 【作業地】□沖島、出雲、□八重山、安宅、嵯峨、鳥羽

勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
 殿島、白鷺、□川内、□足柄、□球磨、
 □妙高、多摩、□天龍、龍田、長良、□加賀、
 □神威、能登呂、勝力、千歲、迅鯨、□那珂、
 由良、鬼怒、□神通、□蒼龍、龍驤、
 □陸奥、□鳥海、摩耶、駒橋
 栗、梅、蓮、□夕立、村雨、春雨、五月雨、
 □白露、有明、夕暮、時雨、□江風、海風、
 涼風、山風、□水無月、長月、□薄、藤、
 葛、□芙蓉、朝顔、□刈萱、□菊月、夕月、

【航海中】

望月、三日月、□追風、疾風、□蓼、蓬、
 菱、□島風、沙風、灘風、臯月、□朧、
 曙、潮、□天霧、朝霧、夕霧、□白雲、薄雲、
 叢雲、東雲、□睦月、卯月、彌生、如月、
 □野風、文月
 □伊一、伊二、伊三、□伊六、伊四、伊五、
 真鶴、□鳩、鷺、雉
 □掃一、掃三、掃四、□掃一六、掃一三、
 掃一四、掃一五、掃一七、掃一八
 □朝日、膠州、鶴見、知床、隠戸、野島

尻矢 (二十日横須賀發—羅府へ)
 石廊 (二十八日「ホノルル」發—吳へ)
 問宮 (二十八日演習地發—吳へ)
 鳴戸 (二十八日演習地發—横須賀へ)
 □八雲、磐手 (三十日佐世保發—鎮海へ)
 □伊一二三、伊一三四 (三十日長浦發—父島へ)